

# 学校について

2年8組

日本とアメリカの学校は、思った以上に全く違い驚くことばかり。まず、目の色、髪の色が様々。中にはピンクや青の髪の人もありました。濃い化粧をしてたり、口や鼻にピアスをしてたり。一昨年の夏に北陵に来た留学生の1人のゲイブという男の子のガールフレンドのエンジェルという女の子は左耳に7つ、右耳に3~4つと、たくさんピアスをしていて初めて見た時はびっくりしました。そして、みんな流行に流されない服装。リンカーン高校の中はとて暖かいので、Tシャツ・短パンという人もいました。北陵高校では考えられないことです。授業は生徒が先生のいる教室を回り、移動時間がとても短いです。普通は7時間授業で、初めこれを聞いた時すごいと思いましたが、なんと5時間目は昼休み。だから北陵と同じ。でも週に何回か0時間目があり、始まる時間はAM7時20分。だからそういう日は6時40分に出なければならなかった。家が北陵から近い私としてはちょっとしんどかったです。ちょっと雪が降って道路が凍ってたら、学校は2時間遅れで始まり、でも授業が全部終わる時間はいつもどおり。だから1時間1時間の時間が半分ぐらい短縮され、授業をやったという感じはしません。そしてまあまあ雪が降ったら、学校は休み。私達には考えられないことです。うらやましい気がします。私達とちがって毎日毎日同じ時間割り。飽きてしまいそうです。私達はたくさんの科目があるので、教科書がかさばって重いですが、こ

## SCHEDULE A Regular Schedule

"0" Period.....	7:20
Students Report.....	8:15
Period 1...8:20 -	9:10
2 & Reg.....9:14 -	10:09
BREAK.....10:09 -	10:19
3..10:23 -	11:13
4..11:17 -	12:07
LUNCH 5..12:07 -	12:45
6..12:49 -	1:39
7...1:43 -	2:33
8...2:37 -	3:25

こは少ないけど1冊1冊の教科書がやる気がなくなるほど分厚く、重そうでした。みんな自分のロッカーがあり、中には仲の良い友達の写真をはってる人もいました。けっこうみんなロッカーの中がぐちゃぐちゃで、ちゃんとすればもっといっぱい物があるのになあと思いました。そしてみんなロッカーの前の床にべっとり座って物を食べたり、宿題をしたり、寝そべって寝たりと豪快。そこは昼休みが終わるとゴミだらけ。廊下にたくさん大きいゴミ箱があるのだけれども… トイレはけっこう広くきれい。きれいだと言ってもやっぱりトイレはトイレ。なのにみんな平気で床に座り着替えをしていました。(更衣室はあります)裸足の人もありました。この学校の中



は、オレンジ、黄色などを使ってるせいか明るいイメージです。着てる服も明るいのがけっこう多いからかもしれません。バスケットの試合がある日は、チアガールは着がえず朝から赤いユニフォームを着ていて様になっててかっこいいです。授業中ガムを食べようが、ジュースを飲もうが先生は何も言いません。クラッセンさんという女の先生にそのことについて聞いてみると、良く分からないけど個人個人家庭生活が違い、勉強法も違う。お腹がすいてたら授業に集中できない。だから1人1人ベストなやり方で授業をうける。…と、こんな感じのことを言っていたようでした。授業に積極的に参加し、言いたいことをはっきり言ったりして日本の受身の姿勢と正反対。ただ記憶するわけではないのです。まず、最初に何故?から始

まります。ヤングシンと会話をすると何故？とよく聞かれこまってしまいました。それは他の北陵生も同じだったでしょう。

＜昼休み＞

リンカーン高校には、カフェテリア(大きい学生ホールみたいなもの)、キッチンがあり暖かい物が食べられます。例えば、フライドポテト、ピザ、メキシコ料理、丸ちゃんのカップラーメンなどいろいろ。お菓子やジュース、コーヒーの自動販売機があり、ちょっと飲みたいなあというぐらいのジュースなら40円もあれば余裕で買えます。自動販売機で丸ごとの林檎が買えるのもおもしろかったです。この食べ物が嫌なら勝手に外にいてサンドウィッチやタコスを食べに行ってもいいのです。この学校はけっこう街の中にあるので食べる店がたくさんあり、うらやましかったです。

＜体育＞

更衣室は細長く、長い椅子がずっと続いて壁はロッカーだらけ。授業は体育館でバスケットをしたり、驚いたことに陵道館みたいな所で、レーブされた時の対応の仕方を男女共におそわっているのです。膝にケリをいれなさいとか。そして、みんな1列にならんで「NO!」と言って壁にキックをして歩いていくという、日本ではあまり考えられない授業でした。やっぱりアメリカなんだと思いました。でも生徒は遊びながら学んでいました。

＜美術＞

ペンを1回もはなさず、紙を見ないで椅子とか物をかいたりしました。あと自分の体をはかったり。良く分からないです。

＜セラミック＞

粘土でいろんな物を作りました。わたしは花瓶のようなものを作りました。普通1クラス20人くらいなのに、セラミックは6~7人しかいなくもの淋しかったです。でも楽しかったです。

＜日本語＞

私が1番好きだった科目はやはり日本語。伊東先生という女の日本人の先生だったので、困った時通訳になってくれ本当に助かりました。ここの授業ではガムとかを食べるは駄目でした。だから授業中かんでいるのが見付かると先生に叱られていました。先生がある生徒に問題を出して、その生徒が分からなさそうにしてるとすぐ他の人達が大きい声でその答えを言ってしまったり、面白いことに、問題を出すとすぐ他の人が勝手に答えてしまうことが結構多かったです。みんなは、伊東先生のことを日本語で「せんせい」と呼んでいます。自分達が先生に呼ばれた時は、日本語で「はい」。なんか不思議な感じでした。その教室の壁には生徒が日本語で書いた日記がはってありみんな上手でした。字を書く練習の時、私達北陵生は間違ってる文字を指摘するため教室の中を歩き回ったのですが、どう教えていいか分からずとまどってしまいました。思えば日本語はとても難しいです。私は、この授業が1番楽しかったです。面白い人や親切にしてくれた人が多く、とても良い思い出にもなりました。実践的で会話を重要視している所、そこが私は好きです。

Chinese-origin Numerals	Abstract Number + Counter (See § 14)					
	Abstract Numbers	+ mai (paper)	+ satsu (book)	+ hon (pencil)	+ dai (ear)	+ tsū (letter)
1	ichi	ichi-mai	is-satsu	ip-pon	ichi-dai	it-tsū
2	ni	ni-mai	ni-satsu	ni-hon	ni-dai	ni-tsū
3	san	san-mai	san-satsu	san-bon	san-dai	san-tsū
4	shi	yo(n)-mai	yon-satsu	yon shi } -hon	yon-dai	yon-tsū
5	go	go-mai	go-satsu	go-hon	go-dai	go-tsū
6	roku	roku-mai	roku-satsu	rop-pon	roku-dai	roku-tsū
7	shichi	shichi } nana } -mai	nana-satsu	nana-hon	nana-dai	nana-tsū
8	hachi	hachi-mai	has-satsu	hachi-hon hap-pon	hachi-dai	hat-tsū
9	{ kyū ku	kyū-mai	kyū-satsu	kyū-hon	kyū-dai	kyū-tsū
10	jū	jū-mai	jus-satsu	jup-pon	jū-dai	jut-tsū



### <その他の教科>

物理の時間、問題プリントをもらい全然分からないのでポケーとしていたら、黒人の女の子が親切に1つ1つ教えてくれ、その時間はとても楽しかったです。

ヤングシンの数学は習ったものが多く、暇にならなくてよかったです。

国際のことを話し合う授業では、いろんな国の人が集まっていて、私達はその授業を見に行った時は、貧しい国の話をしていて、ある男の子が「そんなに貧しいなら子供を産まなければいい」と言ったのでそれに反対した人達が怒って議論合っていました。その迫力はすごかったです。私達もこういう話をするべきだと思いました。

その他の教科はちょっと暇でした。

### <バスケット>

放課後週に何回か試合があり、高校の体育館ですするのに、入場料が2ドル。おまけにその時だけ、ポップコーンの機械やジュースが体育館の前に売っています。最初に女子がやって、その後PM9時すぎまで男子。試合のする前にアメリカの国歌を歌います。男子の試合は燃えました。相手チームには黒人が多く、初めて目の前でダンクを見れて嬉しかったです。観客もやじをとばしたりとすごい応援。高校生と思えないほどの迫力。もちろんチアガールもすごかったです。その中にモデルをしてるという人がいました。この前の男子の試合で途中喧嘩があったそうです。

日本からの留学生に会いました。東京、大阪の人達で、大阪の女の子2人に最初あった時、その1人のまりこさんという人が私達に「なんで、ここに来たん?」と言って、もう1人の人が「きまってるやろ……」と2人で慢才をしてるようで楽しかったです。まりこさんは私より年上で、今年の3月に日本へ帰って来るそうです。

1月4日、5日の2日間は、自分のホストと授業を回り、その他の日は北陵生の人だけで回ったり。あと1日ごとに別なホストと。それは伊東先生が誰と一緒にするかを決めます。だから良い人ばかりでした。すごい優しくてかわいい女の子や、ひょうきんな子、それにもしかして1996年のオリンピックの柔道にでるかもしれないという人など本当にいろいろな人に出会いました。

この学校生活はとても楽しく、帰りたくないなとちょっと思っちゃいました。ポートランドに行けたことを心から嬉しく思います。

貴重な体験をありがとう!

